

2005年11月1日

< 報道関係各位 >

ユーシーカード株式会社

- 「UCカード」新TV-CM -
中村獅童さんが
等身大のキャラクターを熱演
「お会計」篇 「公共料金」篇
11月5日(土)よりオンエア開始

ユーシーカード株式会社(以下、UCカード)は、歌舞伎俳優の中村獅童さんを起用した「UCカード」のTV-CM第2弾、「お会計」篇、「公共料金」篇(各15秒)のオンエアを、11月5日(土)から全国で開始いたします。

中村獅童さんは、伝統的な古典芸能・歌舞伎界での活躍にとどまらず、映画やTVドラマ、さらにはファッションリーダーとして、幅広い世代に人気の歌舞伎俳優。“さまざまな世界で活躍し、トレンドの先端をいく”中村さんの多彩な才能が、“日常のさまざまなシーンで多様な決済・サービスを提供する”という「UCカード」の多様性に通じることから、「UCカード」の2005年度イメージキャラクターとして活躍しています。

“自分を楽しもう。”をコンセプトとする「UCカード」のTV-CM第2弾では、獅童さんがカラオケボックスを舞台に、子供の頃から面倒を見てもらっていた知り合いのオバちゃん達4人とコミカルなシーンを展開。カラオケに夢中の彼女達に、電気・ガス料金をUCカードで払うことの利便性・メリットを必死に訴えるものの、人の話を全く聞いていないエネルギーなオバちゃん達の勢いに押されてたじたじとなる場面、さらには普段なかなか見ることのできないカラオケ姿など、見どころ満載のCMになっています。

中村獅童さんご本人もお気に入りの本CMを通じて、「UCカード」が“どこでも気軽に使えて便利”であることはもちろん、“各種公共料金のUCカード支払いでポイントが貯まる”ことを強く訴求し、カード利用範囲のさらなる拡大とお客さまの利便性・満足度の向上を図り、「UCカード」ファンの拡大を目指すものです。

新 TV-CM について

今回の TV-CM では「お会計」篇と「公共料金」篇(各 15 秒)の 2 タイトルを放映いたします。

「公共料金」篇は、首都圏エリアのみでのオンエアとなります。

「お会計」篇

とあるカラオケボックス。顔中に真っ赤なキスマークをつけた獅童さんが、今にも泣き出しそうな顔で「もう帰っていい？」と聞いています。その相手とは、道ばたでバツリ出会った、子供の頃から面倒を見てもらっていた知り合いのオバチャマ 4 人組。両サイドをがっちり囲まれた獅童さんは、帰りたくてもなかなか帰らせてもらえないようです。久しぶりに会った獅童さんにテンション上がりっぱなしの彼女達は、獅童さんの肩に腕を回したり、強引に抱き寄せてほっぺたにキスマークをつけたりと、もうやりたい放題。獅童さんの再三に渡る「帰りたいコール」も、「何言ってんのよ!」「(マイクを手に)私、もう一花、咲かせちゃうわよ!」と、まったく意に介しません。もちろん、「いや、咲かなくて!」という獅童さんのツッコミにも聞く耳持たず。とそんな時、部屋の外を通りかかった店員を見つけた獅童さん。スキをつけて、オバチャマ達の包囲網から脱出、部屋を飛び出しながら「お会計!」「UC カードで!」と、店員を呼び止めます。ところが次の瞬間「なにやってんのよ!」と、素早く追いついたオバチャマに足をつかまれ、バランスを崩した獅童さんはあえなく転倒。腹ばいのままなすすべなく、強引に元の部屋へと引き戻されてしまいます。店内に響き渡る、「アー—!!」という悲鳴。獅童さんの行く末や如何に……!?

「公共料金」篇

カラオケボックスで獅童さんが、「電気代もガス代も毎月払うでしょ? それを UC カードで払うわけ……」と、UC カードの便利さ・メリットについてオバチャマ達に説明しようとしています。しかし、夢中でカラオケの選曲をしたりして、オバチャマ達は獅童さんの話をまったく聞いていません。そんな様子にあきれながらも、「そうずっと、ポイントが貯まるから……」と、懸命に説明を試みる獅童さん。それでもやっぱり話を聞かないオバチャマ達は獅童さんの腕に絡みついたり、ドアの脇で受話器を持ったひとりが、さも当然のように「延長するでしょ?」とまで言い出す始末。これにはさすがの獅童さんも「しないよ!」と声を張り上げ、徹底抗戦の構え。何とか阻止を試みようとしますが……。次のシーン、どうやら観念したのか画面に現れたのは、オバチャマ達と仲良くデュエットで歌う獅童さんの姿。室内に響き渡る獅童さんの歌声と、本当に楽しそうな獅童さんの笑顔がとても印象的です。

撮影エピソード

全体エピソード

都内にある実際のカラオケボックスで撮影

今回の撮影は前回の「お好み焼き屋」篇・「酒屋」篇に続いて、「UC カード」が日常でも手軽に使えることをよりわかりやすく訴求するため、スタジオのセットではなく、実際にある都内のカラオケボックスを丸一日借り切ったのロケ撮影となりました。貸し切りとはいえ、店内は限られたスペースしかなく、まして手狭なカラオケルームの中での撮影となれば、セットを組むためにはふだんの何倍以上もの労力と時間を要します。制作スタッフは朝から晩まで、現場のあちこちを汗だくになって駆け回っていました。その甲斐あって、CM は臨場感あふれる、クオリティーの高い内容に仕上がりました。

励ましの言葉に気合充実

撮影が始まる前、関係者、スタッフのいる控え室へ現れた獅童さんは、「今日はよろしく願います」と、ひとりひとりの目を見つめ、丁寧に挨拶。前回の撮影時以来、半年ぶりの再会を喜ぶ関係者から「前回の CM、ものすごく好評でしたよ。今日もよろしく願います」と激励されると、本当に嬉しそうな笑顔を見せていました。そんな励ましの言葉に応えるべく、スタッフに誘導され、カメラの前へと向かいましたが、その横顔には控え室に入ってきた時以上に気合が充実していました。

「お会計」篇

迫力満点のオバちゃま 4 人組

おでこの真ん中と左のほっぺたに、赤いキスマークをつけて登場した獅童さんを、さっそく大歓声で迎えた 4 人のオバちゃま達は、「この日をとても楽しみにしていた」というだけに、最初から最後までテンション全開。獅童さんに臆することなく腕を絡ませたり、足をつかんでズルズル引きずったりと、圧倒的なオバちゃまパワーを見せつけ、傍で見守る現場スタッフも本番中、笑いをこらえるのに必死でした。比較的高年齢層にファンの多い歌舞伎界で揉まれ、年上の方々との接し方には慣れているはずの獅童さんも、この 4 人組の迫力にはさすがに押されっぱなし。撮影後のインタビューでは、「自分の気合より、オバちゃま達の迫力が勝っていました。完敗です(笑)」と、頭を掻いていました。

現場の雰囲気をもたせる獅童さん

本 CM のクライマックス、獅童さんが腹ばいのまま、強引に部屋へと引き戻される場面の撮影は、この日の最後に収録。長時間に渡るロケで疲労も重なっていたはずですが、撮影の合間にスタッフを冗談で笑わせたり、リハーサルでは大げさすぎるぐらいの悲鳴を上げて周りをビックリさせてみたりと、最後の最後まで現場の雰囲気を気遣う獅童さんの姿がとても印象的でした。また、オバチャマ達もこれで終わりとあってか、獅童さんの足を引きずるシーンは、まさに最後の力を振り絞らんばかりの大迫力。それでも物足りなかったのか、**「今は、ちょっと引き(勢い)が足りなかったかしら」**……。このひと言にはスタッフ一同、驚きを通り越してア然とするばかりでした。

「公共料金」篇

本邦初公開！？ 獅童さんのカラオケ姿！

獅童さん自ら、**「今回の CM の一番の見どころ」**と宣言したカラオケシーン。スタッフがオリジナルで制作したラブソング『二人は Ladybird』(Ladybird = “てんとう虫”は、「UC カード」のロゴでもなじみ)を、デュエットで歌っていただきました。本番前は「この歌、難しいですよ～」と監督に自信なさそうに言っていた獅童さんですが、いざ音楽が流れ始めると、その表情は一変。**「家で大声を張り上げて、練習してきました」**という、声の張り・伸び共にプロのアーティストも真っ青の見事な歌声を披露し、スタッフをうならせていました。また、やたらとこぶしを回して熱唱したかと思うと、お次は得意のモノマネでアレンジして歌ってみたりと、マイクを握っている間中、とにかくノリノリだった獅童さん。普段なかなか見ることのできない、獅童さんのカラオケ姿は必見です。

CM の陰の MVP は女優・あめくみちこさん

オバチャマ 4 人組のひとりとして、今回ご出演いただいたのが女優のあめくみちこさん。ふとした仕草、表情にもにじみ出る確かな演技力と、その圧倒的な存在感で、獅童さんのデュエットのパートナーとして、またオバチャマ 4 人組のリーダーとして、CM に華を添えていただきました。獅童さん自身、あめくさんとは以前、座長公演を行った「丹下左膳」の舞台で共演したことがあり、相性の方もバッチリ。撮影の合間にはお互い笑顔で会話するシーンも見られ、獅童さんも**「あめくさんの存在が今回も大きく、とてもありがたかったです」**と、感謝の言葉を述べていました。

CM カット割り

「お会計」篇 (15秒)



中村さん：「もう帰っていい？」

あめくさん：「何言ってんのよ！」



おばちゃんA：「私、もう一花咲かせちゃうわよ！」

中村さん：「いやー！咲かなくて！」

あめくさん：「何言ってんのよ！あはは」



中村さん：「あ！」



中村さん：「お会計！」

中村さん：「UCカードで！」

あめくさん：「なにやってんのよ！」



中村さん：「アー！！」

中村さんNa：「自分を楽しもう。UCカード。」



中村さん：「あははは！」

「公共料金」篇 (15 秒)



中村さん：「電気代もガス代も毎月払うでしょ？」

あめくさん：「そうね、そうね」



中村さん：「それをUCカードで払うわけ。」

中村さん：「そうずっとポイントが貯まるから」



おばちゃんA：「延長するでしょ？」

中村さん：「しないよ！」

中村さん：「帰るよ！」



中村さん：「何回延長すれば...」

おばちゃんB：「もっと楽しい話してよ。」



中村さん：「おまえのぉ～」

中村さんNA：「電気もガスもUCカード。」



< 中村 獅童 プロフィール >

二代目 中村 獅童 (ナカムラ シドウ)

1972年(昭和47年)、東京生まれ。祖父は昭和の梨園の名女形と謳われた三世中村時蔵(トキゾウ)。

叔父に故萬屋錦之介(ヨロズヤキンノスケ)、中村嘉律雄(カツオ)をもつ。「獅童」の名前の由来は祖父三世時蔵の俳号による。伝統と格式の世界に生まれながらも、常に新しい挑戦を続け、モデル、映画、舞台、TVドラマなどで幅広く活躍している。

< 直近の予定 >

2005年12月10日～	映画「あらしのよるに」公開:主人公「ガブ」役の声優として出演(全国東宝系)
2005年12月17日～	映画「男たちの大和/YAMATO」公開:内田二兵曹役で主演(全国東映系)
2006年1月2日放映	テレビ東京系 新春ワイド時代劇「天下騒乱 徳川三代の陰謀」に主演
2006年1月2日～26日 来春	新春浅草歌舞伎 出演 映画「FEARLESS(原題)」公開予定:主演ジェット・リーの最大のライバル役として登場

< 制作スタッフ >

広告代理店	株式会社電通	撮影	中堀 正夫
製作会社	株式会社電通テック		鈴木 一郎
クリエイティブディレクター	柳島 康治	照明	丸山 文雄
プランナー	小山田 彰男	美術	佐々木 記貴
プロデューサー	中村 英二	スタイリスト	長瀬 哲朗
	西村 英明		加藤 和恵
	飯田 知紀	ヘアメイク	和田 吉元
プロダクションマネージャー	大賀 遊		中村 ともこ
	柳原 弘太郎	出演	中村 獅童
ディレクター	水落 豊		あめく みちこ 他

勝手ながら、写真の二次利用はお断り申し上げます。